

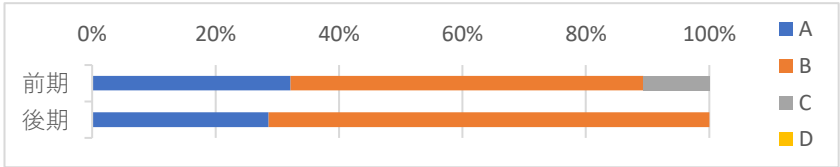
令和5年度 学校評価 教職員自己評価

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

【こ
向
上
心
（
学
び
合
い
）

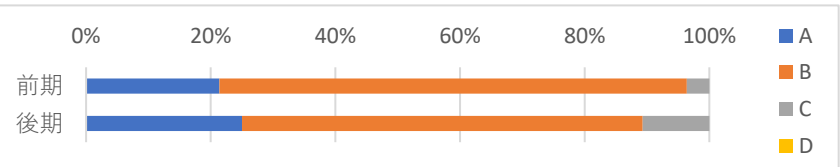
1 学年等で協力し合い、共通理解しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりを行った。

	A	B	C	D
前期	32.1%	57.1%	10.7%	0.0%
後期	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%



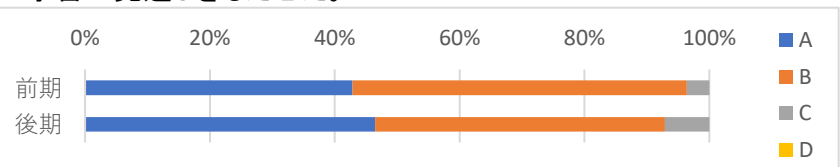
2 資質・能力（身に付けたい力）を明確に意識し、児童の思考の流れを想定した単元計画や授業計画を立て、実践した。

	A	B	C	D
前期	21.4%	75.0%	3.6%	0.0%
後期	25.0%	64.3%	10.7%	0.0%



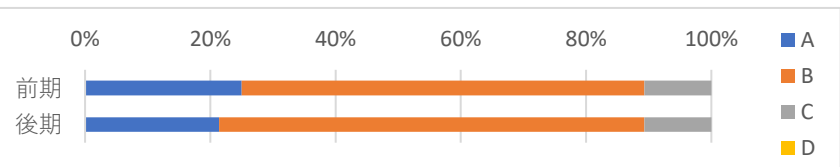
3 単元や本時の学習のめあてを提示することで学習の見通しをもたせた。

	A	B	C	D
前期	42.9%	53.6%	3.6%	0.0%
後期	46.4%	46.4%	7.1%	0.0%



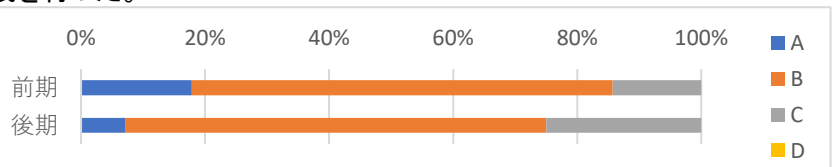
4 学習課題の設定や課題解決的な学習活動、手立てを工夫し、児童が主体的に取り組もうとする態度と課題解決力を育んだ。

	A	B	C	D
前期	25.0%	64.3%	10.7%	0.0%
後期	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%



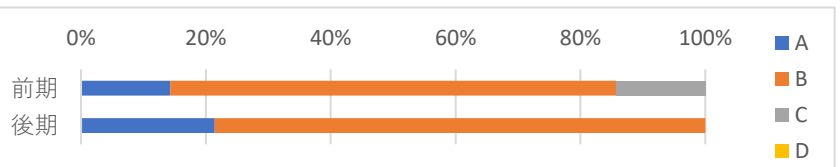
5 児童の変容の見取りを多面的に行い、児童相互の学び合いの中に位置付けた豊かな学び合いを通して思考活動の充実を図り、深い学びへとつながる実践を行った。

	A	B	C	D
前期	17.9%	67.9%	14.3%	0.0%
後期	7.1%	67.9%	25.0%	0.0%



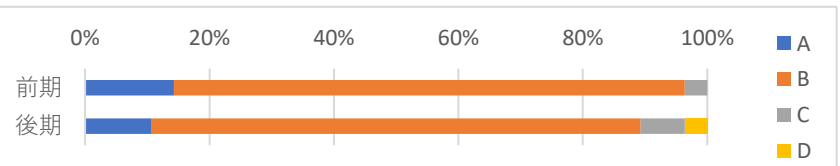
6 「主体的に学習に取り組む態度」の育成に向けて、児童が粘り強く取り組み、学習の仕方（学び方）を工夫・習得できるように指導した。

	A	B	C	D
前期	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
後期	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%



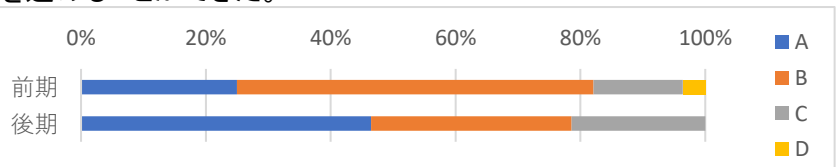
7 授業において、特性のある児童の困難さに応じた指導方法の工夫をしたり、ユニバーサルデザイン化を意識したりして、個別支援の充実を図った。

	A	B	C	D
前期	14.3%	82.1%	3.6%	0.0%
後期	10.7%	78.6%	7.1%	3.6%



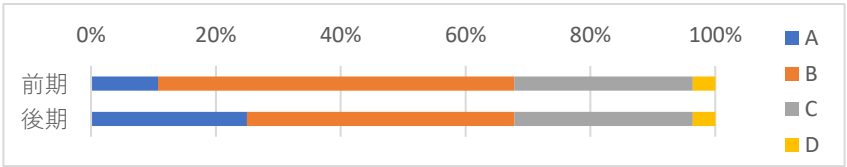
8 教育相談コーディネーターなどを中心に、支援体制の充実と改善を図るとともに、保護者や関係機関との連携を図り、個別の支援を要する児童の相談活動を進めることができた。

	A	B	C	D
前期	25.0%	57.1%	14.3%	3.6%
後期	46.4%	32.1%	21.4%	0.0%



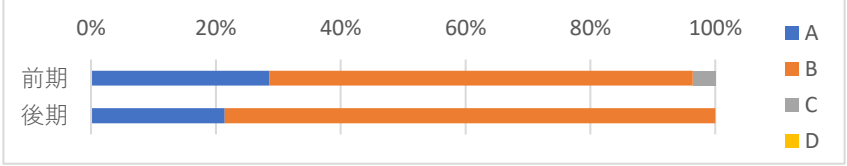
9 資質・能力を身に付けるために、ICTの効果的な活用を図った。

	A	B	C	D
前期	10.7%	57.1%	28.6%	3.6%
後期	25.0%	42.9%	28.6%	3.6%



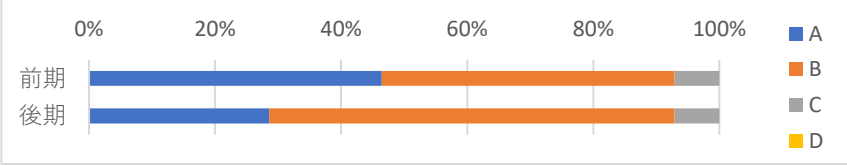
10 気持ちの良いあいさつができる子の育成をめざした。

	A	B	C	D
前期	28.6%	67.9%	3.6%	0.0%
後期	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%



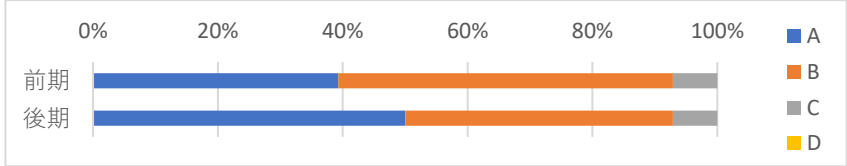
11 感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」が自然に言える子の育成をめざした。

	A	B	C	D
前期	46.4%	46.4%	7.1%	0.0%
後期	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%



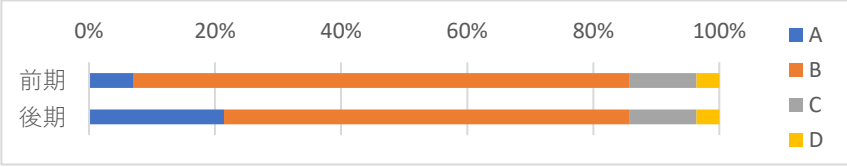
12 自己有用感の醸成、思いやりのあるコミュニケーション能力の向上をめざし、認め合える学級集団づくりに取り組んだ。

	A	B	C	D
前期	39.3%	53.6%	7.1%	0.0%
後期	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%



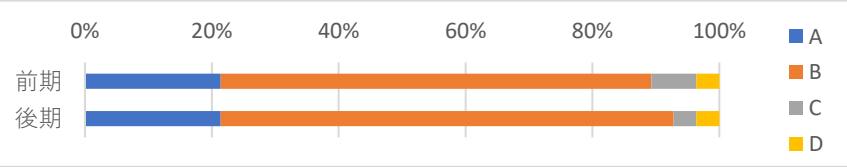
13 道徳教育及び「特別の教科 道徳」の指導を工夫し、道徳的価値について多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育を行い心を育んだ。

	A	B	C	D
前期	7.1%	78.6%	10.7%	3.6%
後期	21.4%	64.3%	10.7%	3.6%



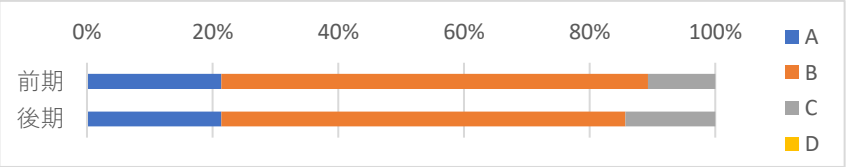
14 学級活動や集団活動を工夫するなどして、主体的に判断し行動する姿勢や自律心を育んだ。

	A	B	C	D
前期	21.4%	67.9%	7.1%	3.6%
後期	21.4%	71.4%	3.6%	3.6%



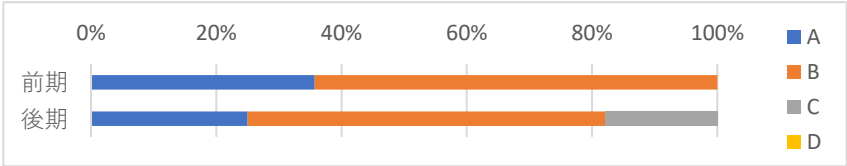
15 清掃活動の充実・徹底、安全点検、教室内外の整理整頓等を行ったりして、校舎内外の環境整備に努めた。

	A	B	C	D
前期	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%
後期	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%



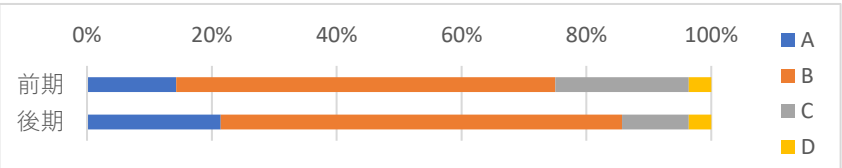
16 インクルーシブ教育※の推進により、自他の良さを認め、相手の気持ちを考えて行動できる心を育んだ。
※共に学び共に育つために環境を整え、個別のニーズに応じた指導・支援を行うこと。

	A	B	C	D
前期	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
後期	25.0%	57.1%	17.9%	0.0%



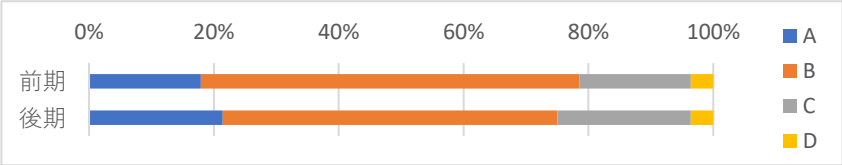
17 バランスよく食べる大切さに気付き実践できる子をめざして、給食指導や各教科等における食育の充実に努めた。

	A	B	C	D
前期	14.3%	60.7%	21.4%	3.6%
後期	21.4%	64.3%	10.7%	3.6%



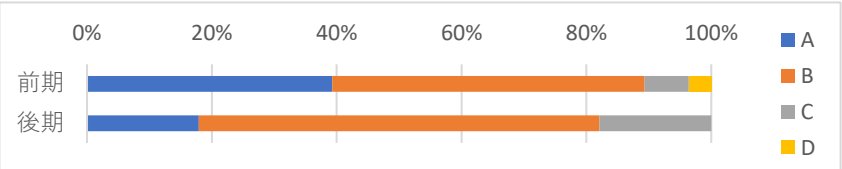
18 休み時間の外遊びや日常の運動を奨励し、体力の向上と挑戦・チャレンジする心を育んだ。

	A	B	C	D
前期	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%
後期	21.4%	53.6%	21.4%	3.6%



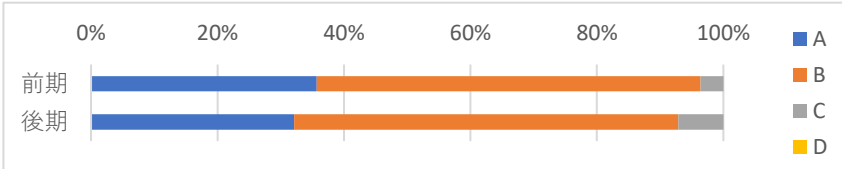
19 学級や学校生活、交通のきまり（ルールやマナー）を守り、安全な生活を送ることができるように取り組んだ。

	A	B	C	D
前期	39.3%	50.0%	7.1%	3.6%
後期	17.9%	64.3%	17.9%	0.0%



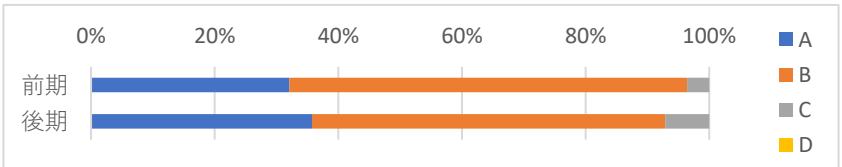
20 児童が「自分の命と安全は自分で守る」という意識の高揚が図れるように指導した。

	A	B	C	D
前期	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%
後期	32.1%	60.7%	7.1%	0.0%



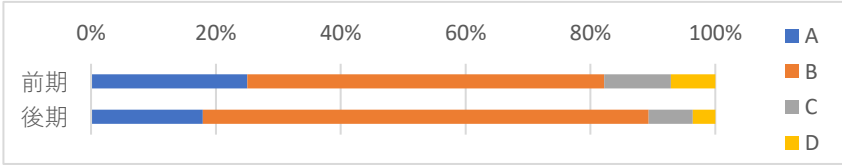
21 実際の災害を想定した避難訓練や学校安全計画の実施により、防犯・防災に関する危機管理意識や指導力の向上を図ることができた。

	A	B	C	D
前期	32.1%	64.3%	3.6%	0.0%
後期	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%



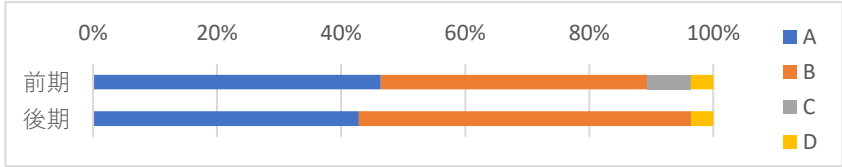
22 家庭と連携しながら、家庭学習の内容を工夫し、家庭学習の習慣化に継続的に取り組んだ。

	A	B	C	D
前期	25.0%	57.1%	10.7%	7.1%
後期	17.9%	71.4%	7.1%	3.6%



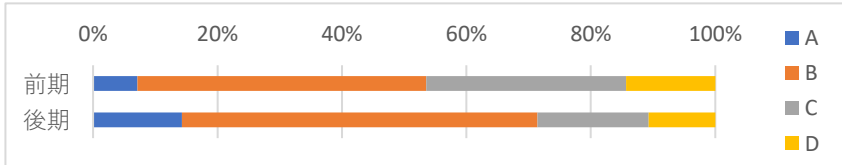
23 児童の欠席状況などに留意し、家庭と連携しながら不登校の未然防止や問題の早期発見・対応に努めた。

	A	B	C	D
前期	46.4%	42.9%	7.1%	3.6%
後期	42.9%	53.6%	0.0%	3.6%



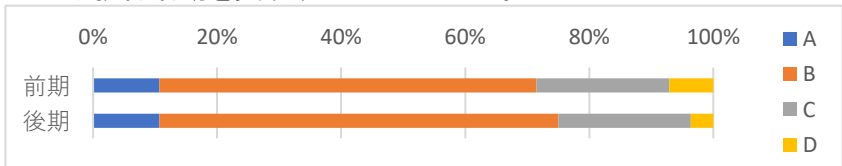
24 スクールボランティアや地域人材等を活用し、児童と地域の方との関わりの場を充実させることを通して、より豊かな教育活動を実践することができた。

	A	B	C	D
前期	7.1%	46.4%	32.1%	14.3%
後期	14.3%	57.1%	17.9%	10.7%



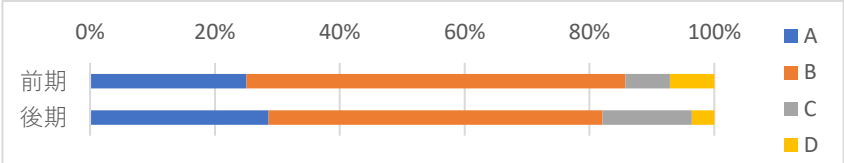
25 生活科・社会科・総合的な学習の時間等において、地域素材の教材化を意識して単元構成や年間指導計画の見直しを行い、地域学習の充実を通して、より豊かな教育活動を実践することができた。

	A	B	C	D
前期	10.7%	60.7%	21.4%	7.1%
後期	10.7%	64.3%	21.4%	3.6%



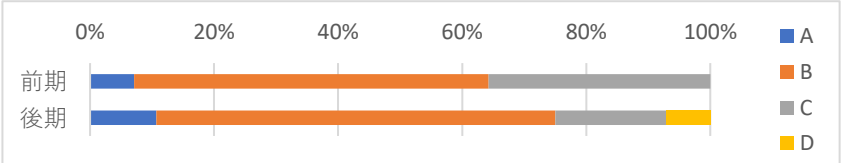
26 家庭と連携した取り組みができるよう、学習の様子や指導に係ることを適切に家庭に情報発信したり情報共有したりすることができた。

	A	B	C	D
前期	25.0%	60.7%	7.1%	7.1%
後期	28.6%	53.6%	14.3%	3.6%



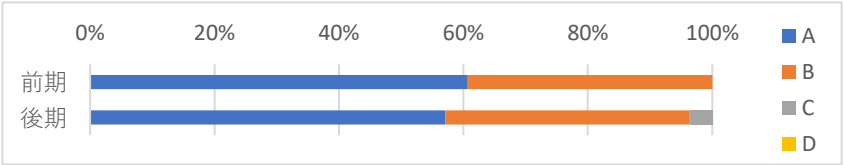
27 園や中学校など異校種との学びや成長のつながりを意識して指導にあたることができた。

	A	B	C	D
前期	7.1%	57.1%	35.7%	0.0%
後期	10.7%	64.3%	17.9%	7.1%



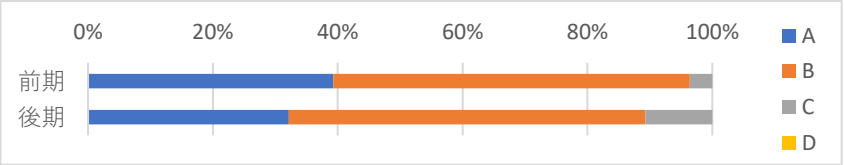
28 学校不祥事・事故に対する危機意識を持ち、児童への指導を行うとともに校務を遂行した。

	A	B	C	D
前期	60.7%	39.3%	0.0%	0.0%
後期	57.1%	39.3%	3.6%	0.0%



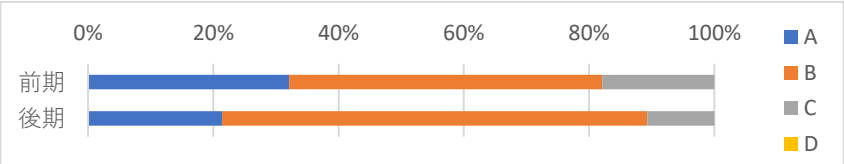
29 校内研究や研修に積極的に取り組み、授業力・指導力の向上をめざすことができた。

	A	B	C	D
前期	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%
後期	32.1%	57.1%	10.7%	0.0%



30 人材育成の視点を持ち、グループリーダーや学年代表を中心とした教職員同士の教え合い・関わり合いにより、組織的・計画的に校務を推進することができた。

	A	B	C	D
前期	32.1%	50.0%	17.9%	0.0%
後期	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%



31 子どもの思い・気持ち・言動の背景を想像し、子どもに寄り添う指導・支援を行うことができた。

	A	B	C	D
前期	46.4%	53.6%	0.0%	0.0%
後期	32.1%	64.3%	3.6%	0.0%

